

## 令和5年 第3回木津川市議会定例会 開会あいさつ

みなさん、おはようございます。

本日ここに、令和5年第3回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には 何かとご多用のところご出席を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

それでは、本定例会冒頭の貴重なお時間をいただきまして、市政の状況などにつきまして、ご報告させていただきます。

まず1点目といたしまして、「台風7号の対応について」でございます。

8月14日から15日にかけて近畿地方を直撃しました、台風7号は、スピードが非常に遅く、強風雨の影響が予想され、先行的に災害対応体制を確立する必要性があったことから、14日午前8時30分より、危機管理課による特別配備体制、9時30分より災害警戒本部員による情報共有会議を開催し、午後5時には災害警戒本部体制をとり、強風からの避難を想定した避難所を3か所開設、また、15日午前6時から8か所の避難所を追加で開設して避難者への対応をし、6世帯9名の方が避難されました。

府北部では、災害救助法の適用を受けるなど、甚大な被害が発生しておりますが、本市においては、多数の街路樹の倒木等の被害、住家被害として屋根の一部損傷等の被害は受けておりますが、幸いにも人的被害の報告は受けていない状況です。

今後も、台風シーズンが続きますので、気を引き締めて市民の皆様の安全・安心を確保できるよう、災害対応に努めてまいりたいと考えます。

次に2点目といたしまして、

「浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念特別展について」でございます。

7月8日から奈良国立博物館で開催されております、浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念特別展「聖地 南山城 ～奈良と京都を結ぶ祈りの至宝～」の来場者数は、8月20日の時点で、累計4万1,294人と聞いており、開催期間中に5万人を超える見込まれています。

市では、特別展会場にPRブースを設置し、観光案内、お茶の振る舞い、特産品販売に 取組むほか、博物館地下回廊において、埴輪づくりワークショップを開催いたしました。

お茶の振る舞いについては、開催期間内のうち12日間において、山城茶業組合が製造されているティーバッグ「どんなあじ？」のかぶせ茶及びほうじ茶を振舞いました。

本年は 猛暑が長く続いたこともあり、1日約500人の方が試飲されるなど、非常に好評で、木津川市産のお茶のファン作りの手ごたえを感じたところです。

あわせて、特産品販売コーナーへの誘導を行い、7月末時点で約40万円の売上があり、物販による市のPRに一定効果があったものと考えています。

埴輪づくりワークショップでは、52名の方が参加され、1700年から1400年前に実際に作られた方法で工作いただき、参加者の方からは、楽しかったなどの感想をいただいたところです。

加えて、お茶の京都DMOとの連携事業として、古寺巡礼バスの運行、古寺巡礼ツアーの造成、古寺巡礼マップの作成などを実施しました。

奈良国立博物館での特別展終了後、9月16日から11月12日までの期間、東京国立博物館において特別展「京都・南山城の仏像」が開催されます。

関東圏の方にも木津川市を訪れていただけるよう、引き続き関係機関と連携して観光誘客に取り組んでまいります。

次に3点目といたしまして、

「ChatGPTの試験導入について」でございます。

生成AIにつきましては、すでに京都府や城陽市におきまして、実証実験が開始されているところですが、本市におきましても業務への活用を検討するため、去る7月27日からChatGPTの試験導入を実施しております。

試験導入は9月30日までとしており、文案の作成、添削や要約、アイデア出しやパソコンスキルの向上等に活用することを想定し、試験導入の結果を踏まえまして、今後、本格導入について検討してまいります。

さて、本定例会にご提案いたしております 議案等につきましては、お手元にお届けいたしておりますとおり、同意2件、認定11件、議案12件、報告7件となっております。

詳細につきましては、後ほどご説明させていただきますので、よろしくご審議いただき 全議案、ご同意、ご認定、ご議決いただきますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。